



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

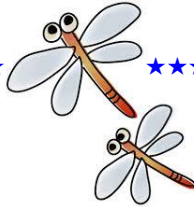
ふちゅうこくさいこうりゅう
府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ
日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ ねが かつどう
楽しく生活していくことを願って、活動を
つづ 続けています。

くろするろ〜ど

2017/9月号

会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★



★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

〜サロン月間カレンダー〜9月〜

「国際ふれあい会」

―私のふるさとを語る―

■サロンでお茶会

9月8日(金) 午前10時30分〜12時
絵手紙教室 費用(100〜200円)

月曜午前ボランティア 岩城 恵

サロン3階第1会議室
9月15日(金) 午前10時30分〜12時
生け花教室 (花代500円) 要予約

サロン3階第1会議室
9月22日(金) 午前10時30分〜12時
ダンス教室 託児室

9月29日(金) 午前10時30分〜12時
ゆかた着付け教室 託児室

学習者さんお二人をプレゼンターに迎えて、今年も「国際ふれあい会」が開催されました。自分の生まれた曜日を大切にする国ミャンマーからナンスーサンさん。コペルニクス、ショパン、キュリー夫人の祖国ポーランドから野崎アガタさん。どちらも工夫をこらした発表と心のこもったおもてなしで、50名を超える参加者を楽しませてくれました。

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申込みはサロン事務局まで。

鮮やかな黄色い民族衣装のナンスーサンさんは、ミャンマーの遺跡や文化を紹介し、伝統の踊りを披露しました。干しエビ・ナッツ・キャベツをしつとり漬けたラペットゥをいただきながら鑑賞できるという、贅沢なひとときでした。木の皮から作る日焼け止めクリームも大いに参加者の興味をひきました。

■ボランティア勉強会

テーマ：新・旧ボランティア交流会

―学習者にあった教材えらびなど―

日時：9月20日(水) 午前10時〜12時

場所：サロン3階第1会議室

アガタさんは、童謡『森へ行きましょう』の原曲『シュワ・ジェヴェチカ』を情熱的に歌い上げ、歴史や地理もわかりやすく解説しました。優しいご主人と一緒に、参加者からの質問にひとつひとつ丁寧に答えていました。じゃがいもパンケーキとチョコレートが大好評で、名作映画や刺繍、食器など幅広いポーランド文化の話題は尽きませんでした。

昨年参加してから1年間これを楽しみに過ごした、という、一般市民のかたも、期待通りの特別な体験に満足され、盛況のうちに幕を閉じました。はじける笑顔のナンスーサンさん、表現ゆたかなアガタさん、素敵な時間をありがとうございました。



こうえんかいほうこく 「講演会報告」

げつようごご 月曜午後ボランティア 小杉英子

去る7月8日(土)、「やさしい日本語で国際交流。英語でなくていいんです。」という題名で、市民・ボランティア53名の参加の下、吉開章氏<(株)電通>による講演会が行われました。

福岡県柳川市で柳川から始まる「おもてなし・やさしい日本語ツーリズム」をモットーに観光客が日本語を話せる観光、市民と気軽に触れ合える観光の実現を目指し活動中の吉開氏の講演は「聞く・見る・グループワークで体験する」という楽しいものでした。

サロンに来る学習者との一番の違いは柳川の外国人の殆どは観光客である点で、特に日本語学習者の高い台湾、香港、韓国の人が多いそうです。

少しでも日本語を理解し話したい外国人と話す

「やさしい日本語」のポイントは

- * 1文を短く * 明確に最後まで言う
- * 「です・ます」調で * 漢語でなく和語使用(例; 開始します→始めます) * カタカナ英語、擬音語、擬態語はなるべく避ける

という事でした。

「やさしい日本語」を使う桂かい枝さんの落語映像を通し外国人に対する新たなおもてなし風景を見ることができました。

ワークショップは「やさしい日本語」に言い換えましょう!

1) 交通機関 2) 金使い 3) これで還付金申請ができますよ等8項目ありました。みんなで頭を捻りながら言い換えました。当日不参加だった方は考えてみてくださいね。

最後は最近引っ越してきたブラジル人家族を誘う会話を考えるというワーク。花火大会に・カラオケに・自宅に等いろいろと誘いが出ました。こちらの言いたい事を正確に伝える難しさを体験しました。

講演後の感想で一番多かったのは「我々が何気なく使っている日本語が外国人には分かりにくいということを感じた」というものでした。

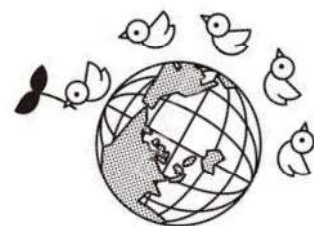
サロンでも「外国人にとってやさしい日本語とは」というテーマで2015年11月に勉強会がありました。その資料が事務室にありますので興味のある方は是非ご覧ください。

とうきょうがいでいれんけい さんか 「東京外大連携プロジェクトに参加して」

げつようごご 月曜午後ボランティア ひらしまいわお

6月23日(金)に行われた東京外国語大学連携プロジェクトのテーマは「そうだったのか世界の学校」です。学生達が世界の学校事情を調べて発表しました。

アメリカの学校では朝食から給食がある事にびっくり(主に貧困家庭むけに)。通学はスクールバスや保護者の送り迎えが基本。スペイン・ポルトガルでは先生達はカタルーニャ語で授業をし、バイリンガル教育。昼休みが2時間~3時間もあり家で家族と一緒に昼食を食べまた授業を再開。「よく学べ・よく食べ・よく遊ぶ」が基本。ブラジルの教育の問題。授業は学生数が多いので午前・午後と二部制。都会と地方の格差の問題あり。香港の実情は土地が狭いので運動場は少なく水泳の授業もありません。学校ごとにカラフルな制服があります。学生の恋愛はOK。大陸の影響が大きい。中国の学生は学生寮に住んでおり、大学受験の為、朝7時から午後10時まで勉強。小中高は恋愛禁止。受験の為の高校生活です。カンボジア・ラオスでは小学校から大学まで制服があります。都市部では柄ものの制服もありサンダルが主流。インドネシアではお祈りの時間があります。毎日お昼ころ80%の人がお祈りをします。カンボジアの進学率は50%くらい。クイズです。ぞう→親指・人→人差し指・あり→こゆび?これはインドネシアのじゃんけんです。日本のじゃんけんと比べてどうですか。各国の事情色々ありますね。



世界の文化

「テランガの国、セネガル」

もと すいよう もりやま な こ
元・水曜ボランティア 森谷真名子

1月末に夫の転勤に伴い西アフリカ、セネガルの首都ダカールで暮らし始めて早5カ月が経ちました。ダカールの人口はおよそ300万人、西アフリカの中では1、2を争う大都市です。19世紀半ばまでフランスの植民地だったため公用語はフランス語、大きな部族の言葉であるウォロフ語を話す人も多くいます。国民の90%近くがイスラム教徒であり、朝に夕にモスクからコーランが聞こえてきます。

地図を見ればわかりますがダカールはアフリカ大陸の西の突端に位置しており、肉はもちろんですが魚介類が豊富で、お米を主食としているためおいしい現地料理もたくさんあります。ヨーロッパ大陸からは飛行機で5時間ほどで来られるので、年間を通して観光客がとても多いです。

セネガルは『テランガの国』とよく言われます。テランガとは現地のウォロフ語であたたく歓迎する、みなで分かち合うといった意味があり、英語の『ホスピタリティ』日本語の『おもてなし』に通じる言葉とも言えます。誰かと知り合えばその人を家に呼び家族みなで共にご飯を食べたり、例えばまたまお金を持っていない人がいれば持っている誰かがその人の分まで支払ってご飯やもてなしをする、外国人であろうと旅人であろうと誰に対しても同じようにあたたかいもてなしをするのがテランガの精神です。毎日顔を合わせるようなご近所であったら、絶えず挨拶をし合いお互いの無事を気にかけるのが当たり前です。初めて会う人にも「どうぞ家でご飯を食べていって」と気軽に誘ってくれます。外国人からすると少々馴れ馴れしくおせっかいに思う人もいるかもしれませんが、誰もが気さくに話しかけてくるこの国に暮らしていると、セネガル人の誰もがテランガという文化を誇りに思っているのがわかります。誰であろうともてなしを優先し、いたわり合い、思いやりを尊しとする文化のあるセネガル、特にお年寄りやみなから敬われる存在ですから、ここでは孤独死などほぼありえないことでしょ

う。国の経済は先進国よりはるかに小さいものですが、セネガルの人々の心の豊かさを見習いたいと思うばかりです。

日本を離れて違う国に住むことで、自分が忘れていたいろいろな事に気づかされる毎日ですが、私はセネガルでの暮らしを心から楽しみたいと思っています。



昔バリダカールラリーの舞台にもなった
(森谷さんと愛犬)



庶民の足、カーラピッドと呼ばれる乗り合いバス



贈物として使われる伝統的織物を織る職人

もりやせんせい たんとく がくしゅうしゃ
森谷先生が担当されていた学習者ニイニアウさん
(ミャンマー)からの返信です。

もりやせんせい
「森谷先生へ！」

ニイニアウさん (ミャンマー)

2015年1月からずっと森谷先生とにほんごをべんきょうしました。やさしい先生でした。

森谷先生がいますんでいるダカールは、すばらしい国ですね。しりあった人たちを家によび、ごはんのおもてなしをしたり、おとしよりをたいせつにするやさしい人たちばかりですね。私もチャンスがあれば、ダカールへぜひ行ってみたいと思います。

お元気です！

「お料理教室の先生をしました」

アントネッラ セニセ (イタリア)

6月24日にルミエールで料理教室が行われました。

レシピが三つありました。

リョウさんは中国の水餃子、ヴァレリーさんはシンガポールのゆばまき、わたしはイタリアのパスタアラノルマを作りました。34人が参加してくれて、すごく楽しいイベントでした。

テレビの撮影もあって、とても驚きました。あらかじめしていたらメイクをしたのに・・・

リョウさんは餃子をかかわから作って、魔法のようにそのかわを餃子に変えました。手際がよくて感動しました。

ヴァレリーさんはシンガポールでしか買えないゆばを使って、大変特別なレシピを作りました。

シンガポールへ行かずにシンガポールへの旅行をするみたいだと思いました。

わたしはさっぱりした味で簡単なレシピを選びました。一般的には味わったことがない羊のチーズをかけて、美味しいパスタにすることが出来たと皆さんに言われました。ボリュームがありましたから、残りを家に持って帰りました。

夫も食べた時に美味しいと言ったのでとても嬉しかった。

いい思い出を作ってください、皆さんありがとうございました。



おいしかったよ!

私のお国自慢 ~25~

バタチャン ジョニー (ネパール)

ネパールはみなみアジアのヒマラヤのくにかからも知られています。しゅとはカトマンズです。めんせきは147,181 km²です。ネパールには8,000メートルいじょうの山は8つもあります。中でいちばんたかい山はエベレスト8,848メートルの山です。

ネパールのじんこうは2,649万人です。ヒンズーきょうとぶつきょうの人がおおくいます。ネパールはインドとチベットからえいきょううけるため36みんぞくもいてげんごも36ぐらいあります。みんぞくによってぶんかとたべるしゅうかんもちがいます。

いっぱいてきなネパールのソールフードはダルバトともも(ネパールふうのむしぎょうぎ)です。

ネパールの南部タライにあるルンビニーはブッダ(お釈迦様)が生まれた場所からもとても有名です。1997年に当地はユネスコの世界文化遺産に登録されています。インドの国境沿いにある街ですので多くの人はブッダがインドに生まれたと間違えています。

ルンビニーには日本の寺をはじめ中国、韓国、シンガポール、タイ、フランス、ドイツなどの世界中の寺院が集まっています。ですので世界中から多くの人が押し寄せる聖地であり、ネパールの有名な観光スポットになっています。特に12月から1月にかけて多くの巡礼者が訪れます。

ですので、ネパールはヒマラヤ山脈の国とブッダ(お釈迦様)のくにとしても知られています。



ヒマラヤ山脈



仏陀生誕の聖地ルンビニ (世界遺産)

「私のふるさと紹介」③ (北海道)

月曜午後ボランティア 川口哲也

以下、前回の続きから

さて、知床観光の良いところは、これだけではありませんよ。季節に関わらず常に堪能できるのが温泉と食事です。特に食事には北海道の海の幸が全てここに集中しているかのようなとても豪華なものにありつきます。お勧めはホテルの朝食のバイキングです。これはただのバイキングとはわけが違いますよ。もう、朝から食べたいものが山ほどだされ、どうしていいかわからないほどです。「山海の珍味」とは、あの事を言うのではないかと思われるほど、いや大げさではなくて、本当の話です。漫画の「ワンピース」のルフィの気分になりますよ、食べ物に囲まれて幸せで。だからホテルでの宿泊は一泊だけというのはやめてください。お勧めは三泊以上です、そうでなければ食事を堪能できません。

以上が私の一番のお勧め景勝地の紹介でした。

続いて文化財からお勧めスポットを一つ紹介しておきます。それは網走監獄です。ここは知床半島からも近いので両方セットで観光ができる利点もありますが、それだけがお勧めの理由ではありません。ここで、ちょっと堅い話になってしまいますが、実は個人的に北海道を代表する文化財とは、明治維新から始まった北海道の開拓の歴史を本当の意味で象徴するものでなければならぬと思っています。それが網走監獄に代表される明治以来の北海道の

監獄なのです。北海道にとってのこの監獄とは「負の象徴」ではありません。何故なら明治政府の方針の下、網走や樺戸、空知、釧路に設けられた監獄(初めは集治監と呼ばれました)の囚人たちによる道路整備、鉄道建設、炭坑作業のための強制労働によって、北海道の重要なインフラ整備がなされてきたという事実があるからです。

私もこの事を初めて知ったのは、小学校四年の頃の見学旅行で樺戸監獄(空知管内の月形町にあり、私が育った場所に近い)を訪れた時でした。自分たちが毎日通学で利用する道路や鉄道、そしてここを見学するため大型貸し切りバスで今しがた通ってきた道路そのものが、その昔すべてここにいた囚人たちの肉体労働によって未開の大地を切り開き整備され作られたものだという事実に子供ながら震撼としたものです。その後、大学生の頃に吉村昭の「赤い人」という本を読んで、更に囚人たちによるこの開拓の歴史を深く理解することができました。ちなみに本の題名の由来は、当時の囚人服が赤いので囚人イコール赤い人というところからきています。

そういう北海道の歴史にとってとても重要な施設であり、もっと広く知られるべき開拓の歴史を勉強することができ、更にお腹がすいたら「監獄食堂」で、現在の受刑者が食べているものと同じレシピで作られている「監獄食」(麦飯にサンマないしホッケの塩焼きの定食で、かなりおいしいです)を味わうこともできる、そういう場所が、この正式名称は「博物館網走監獄」なのです。いかがですか、ちょっと異色かもしれませんが、これが私のお勧めの文化財スポットです。もちろんこの他にも北海道にはまだまだたくさん良いところはありますが、後はみなさん各自で探索をお願いします。



あばしりかんごく 網走監獄

(次回は、北海道の食べ物のお話をします。)

アスマ オシバンドさん(イラン)



「世界の人たちに安全な食糧を・・・」

アスマさんはイランから東京農工大学に留学するために2015年10月に来日しました。

来日する前は、イランで、修士を卒業した大学で臨時ですが、先生をしていました。

現在博士課程で、農業を勉強しています。特に、「植物ときのこ」の関係から、有機農法を研究し、将来自国のイランだけではなく、世界の農業に役立つ、安全な食糧を得ることが出来るようにとの大きな夢に向かって、日々研究を続けています。

日本は、人々が親切で、礼儀正しく、道も家も清潔だと感じています。

日本の食べ物では、お寿司とたこ焼きが大好きとのこと。そして日本の墨絵にも興味があつて習っていました。

大学の授業は英語ですが、卒業したら、日本で仕事をしてみたいという希望もあり、サロンでは来日した翌月から日本語を勉強しています。

「気をつけてください」という日本語が好きなアスマさんは、友達が幸せになることが、自分も幸せになるという思いやりのある性格で、それが、世界中の人たちが安全な食糧を得て、幸せになればいいなという夢とつながっているように感じました。

(堤林)



「日本語のここが難しい」

研修部会 萱生由美子

7月19日は学習会の最終日でしたが、サロンが既に夏休みモードに入ってしまったらしく、参加者は11名でした。

まず参加者の体験を何人かに聞きましたが、皆さんいろいろと苦勞をしながら、工夫をしておられることがよく分かりました。

そして、アンケートの集計から4つの問題を取り上げ、グループで話し合い、結果を発表しました。最後に司会者から回答例が提示されました。その一部を紹介します。

取り立ての助詞を理解してもらえない。

「私は野菜しか食べない」と「私は野菜だけ食べる」をどう説明するか。

- 「しか」は常に「しか～ない or ません」の様に否定形と共に使い、それ以外は無いという限定の意味を表す。また、「～ない or ません」を強調したい話し手の意思を表す。例文:「コアラはユーカリの葉しか食べないそうです。」「もう、千円しか残っていません。」
- 「だけ」は助数詞や普通名詞の後について、数量やものに制限があることを表す。後ろの部分は肯定も否定もある。例文:「この乗り物に乗れるのは5歳以下の子供だけです。」「数学の試験は1問だけ出来ませんでした。」

難しい語彙や慣用語の説明は？

アンケートで多かったこの問題は、学習者はそのレベルによって習得している文型や語彙に限りがあるので、辞書にあるような意味説明をするとほとんど理解できません。そこで、学習者のレベルに合わせて出来るだけ易しい文型、語彙を使い、一文を短く積み重ねて説明していくことが大切です。

『やさしい日本語』の考え方が参考になると思います。

(詳細は記録をご覧ください。)

「ギラギラ太陽が」

きんようよる わ だ やすひろ
金曜夜ボランティア 和田泰弘

夏の花々は、ギラつく太陽の強烈な光にもめげない、その鮮やかな原色が目を楽ませてください。梅雨が明けた7月のある日、ウォーキングのさなか、道ばたに咲くノウゼンカズラの濃いオレンジ色に目を惹かれています、ふと前田夕暮の『ひまわりは金の油を身に浴びて ゆらりと高し 日のちいささよ』が浮かびました。金色に輝くギラギラした太陽に立ち向かい、凜としてその存在を誇示するひまわりの鮮やかな黄色が、路傍の、夏日を浴びるオレンジ色と重なったのです。

色や景色の輪郭をくっきりとさせる夏の太陽の光にぴったりのことば「ギラギラ」は、'60年代に流行ったポップス『涙の太陽』に「ギラギラ太陽が燃えるように はげしい火をふいて恋する心…」、童謡の『夕日』には、「ギンギンギラギラ夕日がしずむ…」と謡われています。一方、貪欲さの代名詞にも使われ、獲物を狙う獣や、一撃で相手を倒そうとするボクサーの目を「ギラついた目」とも表現します。「目がギラついている。」などと言われると、心の中を見透かされたようで「ドキッ」として恥ずかしい思いに駆られもします。

「ギラギラ」が、「ギラ・つく」という形で動詞になるように、「ぶらぶら」「バタバタ」「イライラ」などのオノマトペも、「ぶらつく」（ぶらぶら散歩をする）、「バタつく」（忙しくてバタバタする）、「イラつく」（気分がイライラする）などのように動詞化して使うことができます。「べたべた（べたつく）」「ぐずぐず（ぐずつく）」「ざわざわ（ざわつく）」などもあります。ほかに動詞化できるオノマトペにどんなものがあるか、学習者の皆さん、ボランティアの方と探してみるのも一興ですよ。

若い頃、何かに飢えてギラついていた気持ちも、今や恬淡として、酔っては「ふらふら」とふらついたり、世の流れについていけず「まごまご」とまごついたり毎日の毎日です。

私の☆つぶやき

「赤門=東大？」

なつめ そうせき さんしろう
— 夏目漱石の『三四郎』 —

ナム ソ ラ カンコク
南 素羅 (韓国)

東大と言えば赤門、これは皆さん御存じでしょう。しかし赤門は徳川將軍家の姫君のための門、いまなお壮麗な赤門は東大の代名詞にもなっているが、かつては東京のあちこちに存在していたらしいです。東大の場合、旧加賀百万石の藩主前田家の江戸屋敷跡で御守殿門がそのまま残っていたものだそうです。

去年から最近までずいぶん長い期間、『三四郎』を読みました。日本の本を読みたかったのですが文書の意味は分かるものの文書の中の慣用的な意味を自分が理解しているかどうか判断できなかつたです。そして一人で読むとやはり適当に読んでしまうので、サロンのボランティアの方からどんな勉強をしたいですかと聞かれた時、迷わず本を音読したいとお願いました。

それが夏目漱石の『三四郎』です。難しいし時間もかなりかかりましたが細かいところまできちんと読んだので得るものはたくさんありました。文頭の話もその一つです。

実は私、『三四郎』を韓国語の訳で読んだことがあります。大体粗筋は分かっていた。けれど日本語で読むと違います。あの時代の若者の話、恋愛くらいだったのが日本語で読むと日本の町の風景、あの時代の日本の知識人の勉強、悩み、読んでいる本などなど隅々まで大事な内容が書いてあったのでときには笑いながら時には不思議に思いながら楽しく読みました。繰り返して出てくる漢字も読めるようになり、ちょっとうれしかったです。日本語はもちろん日本の勉強にもなった機会でした。これからは読んでみたいです。



『三四郎』作家
夏目漱石

みんなの広場

せいかつじょうほうしえんぶ
生活情報支援部より！



「エコバザーのお知らせ」

日時：10月2日（月）12時～15時30分

場所：サロン3階 第1会議室

新品、または新品に近いきれいなものを寄付してください。衣類と賞味期限の過ぎた食品は、ご遠慮ください。よろしくお願いたします。

バザー用品（寄付の品）の受付日

9月11日（月）～9月25日（月）

サロン事務所までお持ちください。

「研修部会員募集！！」

研修部会では、毎月第三水曜日の「勉強会」に参加でき、その企画や運営を手伝って下さる方を3～4名募集しています。

関心のある方は、研修部会の萱生か大島までご連絡ください。（研修部会）



～編集後記～

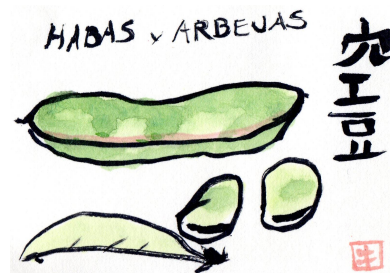
夏休み中の8月15日は73回目の「終戦記念日」。73年前の8月には、ヒロシマ、ナガサキに原爆が次々に落とされ、20万人の市民が命を奪われました。

あまりに非人道的な原爆の脅威に、国連は今年7月27日に「核兵器禁止条約」の締結に向けての交渉を開始する決議案を賛成多数で採択しました。

ところがなんと、世界で唯一の被爆国である日本は、この決議案に反対したのです。

もしサロンの外国人学習者に「原爆で沢山の人が死んだ日本がなぜ核兵器禁止に反対するの？」と聞かれたら、私たちは何と答えればよいのでしょうか？（シーラカンス）

（絵手紙）



キャロル（ベネズエラ）



ラン（ベトナム）

【編集】会報部会/和田、堤林、高柳、
篠塚、坂倉、増田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

